

● 調査学年(中3)だけでなく、十五中全体の課題として捉え、分析を今後活かしてまいります。

豊中市立第十五中
学校だより

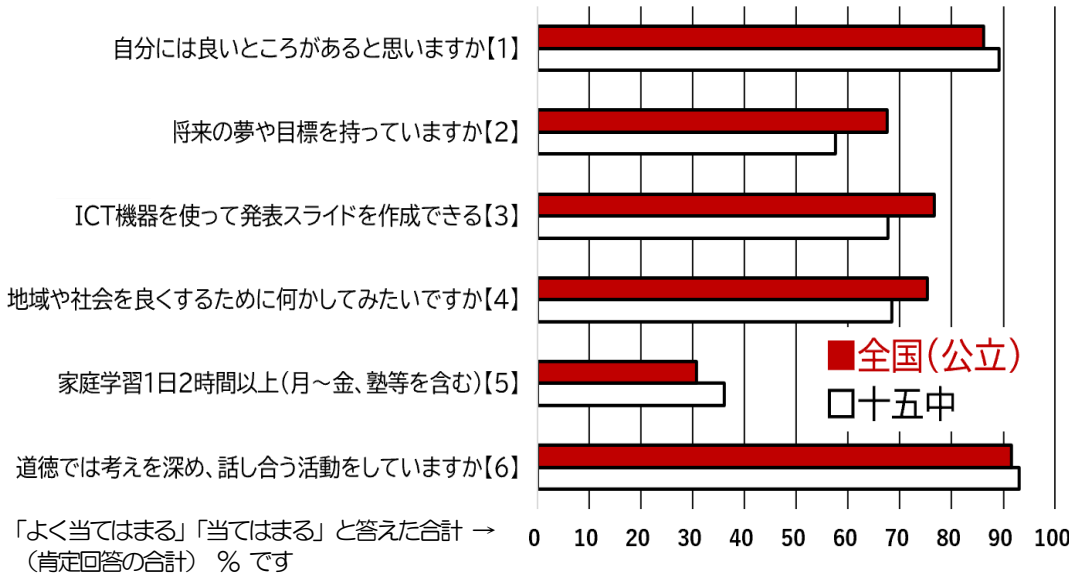
ICHIGO
ICHIE

一期一会



全国学力学習状況調査

4月実施 中3対象の調査について



先日の豊中市の結果公表を受け、十五中の結果について概要をお知らせいたします。

(豊中市の基本方針を踏まえ、設問・領域別に公表します)

【生徒質問紙より】

全71の質問より、6項目を取り上げ、各項目について考察を加えました。

【1】概ね良好ですが、10人に1人は否定的回答です。「自分もいいところあるなあ」と感じられる仲間づくり、取り組みを行っていきます。

【2】昨年同様、半数近くの生徒が「夢や目標」を持っていない現状です。引き続き、地域の方などの身近な大人、ゲストティーチャー、卒業生等の素敵な出会いをプロデュースし、将来を考える機会を大切にしていきます。

【3】ICT活用への回答は概ね良好でしたが、この質問のみ肯定的回答が低かったです。考えをまとめ、発表する力を育成してまいります。

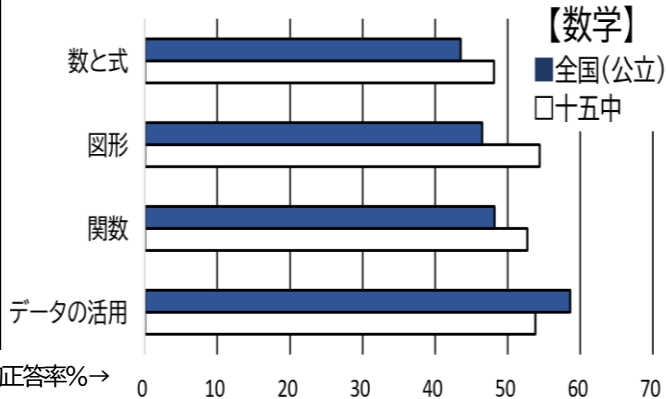
【4】職場体験、フェスタ、ビオトープなど、地域の良さを実感できる取り組みの充実を図ります。

【5】時間の多少だけにとらわれず、将来の夢や目標に向かって、主体性や計画性も大事にしていきます。

【6】学年教員によるルーテーション授業、ゲストティーチャーによる授業など、考える道徳を継続します。

【数学】

概ね良好ですが、全般にわたり、「単純に計算して終了」という問題は少なく、問いを的確に捉え、説明する力を日頃から養っていく必要があると感じました。

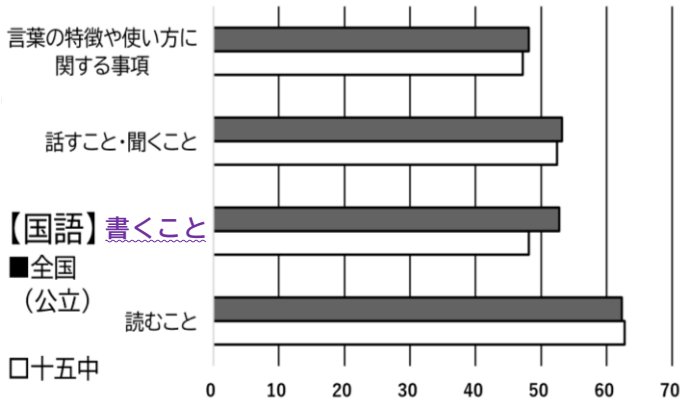


【国語】

概ね良好ですが、書くこと（書くこと）の領域に課題がありました。小学生の感想を引用しつつ、今年の美術展の内容の工夫を書く(チラシに掲載の小6生への呼びかけ文)という問題が難しかったようです。

条件を満たし、読み手を意識し、その読み手に訴えかける簡潔な文章を書く力は、毎日の積み重ねで養われます。

まずは読書により、語彙を豊かにすること、各教科では50字、100字、200字程度の文章記述の質の向上(毎時の振り返り、単元のまとめなど)が肝要となります。



豊中市「学びと、ともに、とよなか」の推進

確かな学力を身につけ、
将来の目標に向かって
自ら課題を見つけ、
学び、考え、判断する力

十五中 ↓ 方策

支援グッズ・ICTの効果的な活用
初任者等を中心とした授業研究の推進

【理科】

学テでは初めてのCBT試験(Computer Based Testing)で、タブレットで回答をしました。

4択問題が動画であったり、設問文に加えイラストもあったり、イメージしやすかったのではないのでしょうか。来年度は英語がCBT試験予定です。

